

1. 科目名 (単位数)	教育実習指導 (初等) I (1 単位)	3. 科目番号	SJTP3555
2. 授業担当教員	戸次 佳子		
4. 授業形態	講義、演習、ディスカッション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	教育実習の基礎資格を満たす見込みがあること		
7. 講義概要	教育実習は、大学で習得した知識や理論を、幼稚園で実践することにより、幼稚園教育の理解を深め、教師の使命感と保育の実践力とを身につけ、教育職としての資質を向上させることを目的とする。本授業では、実習の目的達成のための基礎知識や心構え、実践方法を扱う。具体的には、指導計画作成、保育状況把握、教材研究、指導方法、記録の仕方などについて講義や事例検討を通して学ぶ。保育の具体的な状況に応じた判断力、行動力を養うため、模擬保育や教材研究など活動を伴う授業を含める。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の現場にかかわる人としての基本的な態度、マナー、言葉遣いを理解し、自然に振舞うことができる。 2. 実習実習者として現場から学ぶことの意味と学び方がわかる (子どもからの学び、保育者からの学び)。 3. 実習体験の段階 (観察、参加、実習) における実習目標と実習記録の方法はわかる。 4. 指導計画の作成—実践—反省の過程を体験的に学習し、実践の振り返りと計画の改善の方法がわかる。 5. 子どもの発達段階にふさわしい教材と子どもの興味関心、自発的遊びを生かした活動の展開がわかる。 6. 子どもの活動や遊びへの関わりかた、問題状況への対応をロールプレイなどを通して身につける。 7. 幼稚園生活の1日の流れ、保育環境の整備の仕方など、幼稚園の生活の全体について知っておく。 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	授業には必ず自分なりの問い (自己課題) をもって参加して下さい。そのためには事前学習が必須です。課題レポートおよび最終レポートの課題については、授業内で提示します。		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 使用しない。</p> <p>【参考書】 東京福祉大学編『教育実習の手引き』 『平成 29 年告示 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領 (原本)』チャイルド社。 文部科学省『幼稚園教育要領 (平成 29 年告示) 付・教育基本法, 学校教育法 (抄), 学校教育法施行規則 (抄)』フレーベル館。 文部科学省『幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開』 令和 3 年 2 月。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 決められた書類作成・提出 (計画表、課題レポートの記入の作成と提出) ができる 2 保育者としての言動 (態度、マナー) が取れる。 3 指導技術 (模擬保育等) が身に付いている。 4 保育の評価・反省 (記録作成、考察、反省分作成) ができる。 <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 グループ活動 (指導案作成、模擬保育実践・反省) 30% 2 模擬保育への積極的参加、記録の作成 40% 3 課題レポート及び最終レポート 30% 		
12. 受講生へのメッセージ	保育の現場では、子どもから大人まで様々な人たちとのコミュニケーション能力が求められます。授業内では、自分の考えをきちんと述べること、そして他者の考えも誠意をもって聞くことが大切です。その上で、安心して議論ができる場を共に作っていきましょう。		
13. オフィスアワー	別途、通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	ガイダンス (授業の概要と展開について)	事前学習	『教育実習の手引き』の概要を確認する。
		事後学習	本授業における自分の課題を見つける。
第 2 回	幼稚園教育の理解(1) (園生活 1 日の流れ、保育所との違い)	事前学習	保育所と幼稚園の生活の違いを考える。
		事後学習	幼稚園教育要領の「総則」を読む。
第 3 回	幼稚園教育の理解(2) (幼稚園教育のねらいと保育内容)	事前学習	幼稚園教育要領の「ねらいおよび内容」を読む。
		事後学習	幼児教育における「ねらい及び内容」を確認する。
第 4 回	実習の心構え(1) (基本的な態度、マナー、言葉使い)	事前学習	実習の心構えについてテキストの該当ページを読む。
		事後学習	実習の心構え(1)の学びから自己課題をまとめる。
第 5 回	実習の心構え(2) (実習中生活と留意点)	事前学習	実習中の生活について自己課題をもつ。
		事後学習	実習の心構えについてまとめる。
第 6 回	実習日誌の記入(1) (実習日誌記入の基本事項の確認)	事前学習	実習日誌についてテキスト該当ページを読む。
		事後学習	実習日誌を書く。

第7回	実習日誌の記入(2) (実習日誌の作成)	事前学習	実習日誌を書く目的について考える。
		事後学習	実習日誌を見直す。
第8回	教材研究(1) (絵本や紙芝居の読み聞かせ、手遊び歌)	事前学習	自分の知っている手遊び歌を練習する。
		事後学習	新しく覚えた手遊び歌を練習する。
第9回	教材研究(2) (折り紙、簡単工作)	事前学習	自分の知っている簡単工作を記述する。
		事後学習	教材研究がなぜ必要かをまとめる。
第10回	教材研究(3) (自己紹介の工夫・簡単なゲーム)	事前学習	自己紹介の練習をする。
		事後学習	自己紹介を工夫する。
第11回	指導案の作成(1) (部分実習の指導案の書き方)	事前学習	指導案についてテキスト該当ページを読む。
		事後学習	部分実習の指導案を書く。
第12回	指導案の作成(2) (部分実習の指導案の作成)	事前学習	部分実習の指導案を完成させる。
		事後学習	部分実習の指導案を修正する。
第13回	部分実習の提案(1)	事前学習	部分実習の模擬保育の準備をする。
		事後学習	部分実習の模擬保育を振り返る。
第14回	部分実習の提案(2)	事前学習	部分実習の模擬保育の準備をする。
		事後学習	部分実習の模擬保育を振り返る。
第15回	実習における自己の学びと成長	事前学習	14回の授業内容を振り返り、学んだことをまとめる。
		事後学習	実習における自己の学びと成長についてレポートにまとめる。